

東北次世代がんプロ養成プラン セミナー実施報告書

(セミナー名称) 東北大学大学院医学系研究科がん看護学分野主催 1月がん看護勉強会 事例報告者：富澤 あゆみ (がん看護専門看護師) 所属：医療法人社団やまと やまと在宅診療所大崎 テーマ：米国がんサバイバーシップケア視察研修の報告 ～ワシントン州シアトルにおけるがんサバイバーケア～	
担当者氏名：佐藤 富美子 教授	所属：東北大学大学院がん看護学分野
内線：7926	Email: <a href="mailto:fsato@med.tohoku.ac.jp">fsato@med.tohoku.ac.jp</a>
1. 実施年月日：	
平成 31年 1月 21日	
2. 開催場所：	
東北大学医学部保健学科D棟 217号室 がん看護学分野カンファレンス室	
3. 関連分野：	
サバイバーシップ、がん看護、地域看護、テレメディスン	
4. 対象者：	
がん看護に興味関心のある医療関係者・大学教員・東北大学大学院医学系研究科保健学専攻学生・東北大学医学部保健学科学生	
5. 参加人数：(お分かりの範囲で内訳をお知らせください。教員、学生など)	
大学教員 3名、大学院生 3名、医療関係者 1名(他病院外来看護師 1名) 計 7名	
6. 成果：	
<p>専門看護師として在宅支援診療所に在籍する報告者は、直接看護実践を行う傍ら地域支援としてがんサロンの企画運営を行っている。今回、地域支援の新たな示唆を得ることを目的に米国でのがんサバイバーシップ支援の視察報告があった。</p> <p>ワシントン州では、地域へ戻る患者たちがセルフマネジメントを行うための基盤整備が行われていた。在宅で患者自身がセルフモニタリングできるために、遠隔支援システムの構築、病院間の連携、セルフマネジメント獲得のための専門機関による支援整備が行われていた。また、在宅医療を支える米国における看護師の専門性としてRN,CNS、NP、DNPらの役割についても報告があり、ディスカッションを行った。</p> <p>成果として、日本の在宅医療を支えるための看護支援は、看護師の専門性を高めていくとともに、新たなシステム構築を行っていく必要性が示唆された。本勉強会は、来月も引き続き視察報告が行われ、AYA世代や外来フォローアップの実際に関する学びを深める予定である。</p>	

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】

